

改訂履歴

R e v	改廃内容	実 施 日
1.0	新規 本文 5. 3 の「表 3 業務別復旧判断基準」より別表として「別表 4 業務別復旧判断基準」へ分離し、影響等リスク分析を加え、対応策、復旧優先順位等の根拠を明記した。	2014. 03. 20
1.1	定期見直し	2015. 07. 01
1.2	リスクアセスメント見直し	2015. 11. 25
1.3	ネットワークの「システム停止を考慮した代替・対策」について、J A S T E M ネットワーク迂回中継ルートへの切替えを追記、大規模災害時の対応マニュアル名を「統合NW危機管理マニュアル」に変更	2016. 05. 01
1.4	定期見直し	2016. 12. 15
2.0	リスクアセスメント見直し	2017. 11. 01
2.1	定期見直し	2019. 12. 09
2.2	リスクアセスメント見直し	2021. 10. 01
2.3	定期見直し	2023. 01. 04
2.4	定期見直し	2024. 09. 17

別表4 業務別復旧判断基準

										ベンダー保守契約内容						※対策・代替を考慮しないリスク強度			※対策・代替を考慮したリスク強度							
事業分類	No.	リソース・対象業務	主 管 ス テ プ 目 番	主 管 機 器 番 号	機 器	ネットワーク	設置場所	バックアップ (タイミング/保存媒体 /保存期間/保管場所)	バック アップ 保管外 部委託	ベンダーとの契約上の 復旧対応時間	平 日	土 曜 日	日 祝 祭 日	年 末 年 始	2 4 時 対 応	JA業務へ の影響 (A)	JA顧客へ の影響 (B)	リスク強度 (A) + (B)	高リスク理由	システム停止を考慮した代替・対策 (★マーク…未対策の代替案 ?マーク…技術的な可否の確認が必要な代替案)	JA業務へ の影響 (A)	JA顧客へ の影響 (B)	リスク強度 (A) + (B)	留意事項・考慮等	復旧 優先度	
ネットワーク	1	統合ネットワーク	運用	運用	センター機器	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①月次///九州センターサーバ	●	24時間・365日	●	●	●	●	●	3	3	6	・ほぼ全業務システムに影響する。	・センター側機器はすべて二重化済み。 ・ネットワーク機器の設定情報はバックアップ ・停止中は全業務いずれも手動による対応が必要。 (代替・対策はそれぞれの業務システム参照) ・大規模災害時は、JA三重直連の判断を受け、JA STEMネットワーク迂回中継ルートへ切替える。詳細は、統合NW危機管理マニュアルに従い対応する。	3	3	6	・業務への影響は最大級である。 ・センターの対応としては、機器と通信基盤の確認・ 復旧が対応の中心となる。(回線復旧待ち) ・基本的にネットワーク自体の復旧は、NTTIに頼らざるを得ない(ボトルネックとなる)。 ・ネットワーク機器のうち、全国側管轄の機器は全国組織の対応・判断に頼らざるを得ない(ボトルネックとなる)。	高	
信用	2	信用補完システム (集配信、アプリ(パッケージ、 県独自)、帳表連携、パッチ、共通DB、バックアップ)	開発	運用	信用補完サーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/LTO/35日/マシン室 ②月次/LTO/永久/マシン室 (最新1世代は、滋賀(ワンビシ)) ③日次/遠隔地/1日/NECデータセンター	●	24時間・365日	●	●	●	●	●	3	3	6	・各種業務システムに提供する中継補完データの加工・作成が停止する。 ・口振データの受付・返戻が停止する。 ・全国および各種業務システムへのデータ集配信が停止する。 (口振受付・返戻、中継補完データ等)	・本番機破損の場合、予備機切替をおこなう。 ・復旧まで待つ(ベンダー依存) ・委託者と連絡をとり、口振データ受付を停止する。	2	2	4	・災害時は代替機も本番機と同等の被害を受ける可能性がある。 ・ハード面での手当は厚いが、通信インフラが停止した場合は復旧まで待機を迫られる。 ・業務影響範囲が大きい。 ・中継補完データはJASTEMIにあるため、元データ損失の危険はない。	中	
信用	3	県域口振	運用	運用	メディアサーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/DAT/5週間/マシン室 ②日次/遠隔地/1日/NECデータセンター	●	平日9:00～17:30	●					3	3	6	・媒体系の口振データの変換ができなくなる。	・事前に緊急時対応について信連(資金部為替決済G)にて対応対策を整理・明文化する。 ?口振データの変換をローカルPC等でおこなう。 ★口振データの媒体を輸送する手段を検討する。 ・委託者と連絡をとり、口振データ受付を停止する。	2	2	4	・信連資金部為替決済Gによって対応判断整理が事前に必要。	中	
ネットワーク	4	統合ネットワーク(店舗側)	運用	運用	店舗側ネットワーク 機器	統合ネット ワーク	JA各店舗	①月次///九州センターサーバ	-	24時間・365日	●	●	●	●	●	2	2	4	・ほぼ全業務システムに影響する。(店舗側のみ)	・店舗機器修理、交換(ベンダー依存) ★本店のうち、津波による浸水予測がありかつ1Fに通信機器が設置されている店舗について底上げや設置位置変更を検討する。 ★顧客対応はそれぞれの業務にて暫定対応をおこなう。 ★近隣の俵店を利用してもらう。 ・大規模災害時は統合NW危機管理マニュアルに従い対応する。(他店舗が取引可能である場合、代行処理する。)	2	1	3	・基本的にセンターおよび本店環境の回復を優先する。	中	
ネットワーク	5	インターネット(プロキシサーバ 公開サーバ)	運用	運用	クラウドサーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/LTO/14日/マシン室	-	24時間・365日	●	●	●	●	●	2	1	3	■公開サーバ(外部DNS・メールリレー・公開WEB・タイムサーバ・ファイル転送) ・外部とのメール送受信ができない。JAや信連など統合ネットワーク内部は可能。(外部メールサーバ利用JA (@xxx.jamie.or.jp でないJA) は、影響なし) ・公開サーバ内ディレクトリをホームページとして利用しているJA・組織は、ホームページの閲覧表示できない。 ■プロキシサーバ(内部DNS/Proxy/Mailリレー) ・Eメール送受信ができなくなる。統合ネットワーク内部間メールも不可(共通メールサービス利用組織間の送受信、自組織内は可能。) ・インターネット参照ができなくなる。 ・インターネットに最も有効なバケット通信による連絡、情報収集手段がなくなる	・予め携帯やスマートフォン等の統合ネットワークを利用しない通信手段を準備し、災害時の情報収集・連絡手段として利用する。	1	1	2	・携帯端末による音声通話とメールは通信規制を受けてほぼ使用不可になるが、インターネット接続は利用可能な場合が多い。(東日本大震災の実績による)インターネット上で利用可能な会話・連絡・情報収集可能なサービスを複数選択しておくことよい。 ・センターの緊急時の連絡手段を複数確保しておく必要はないか？	低	
ネットワーク	6	無線LANサービス	運用	運用	認証サーバ 無線APコントローラ 無線AP 無線AP監視装置	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	-	-	24時間・365日	●	●	●	●	●	2	1	3		・有線でつなぐ		1	1	2		低
ネットワーク	7	インターネットリモートアクセス サービス	運用	運用	リモートアクセス装置 証明書配布装置 認証サーバ	インター ネット	センタービル2Fマシン 室	-	-	24時間・365日	●	●	●	●	●	2	1	3		★近隣の俵店から接続する。		1	1	2		低
ネットワーク	8	リモートアクセスサービス	運用	運用	センター機器	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	-	-	24時間・365日	●	●	●	●	●	2	1	3		★近隣の俵店から接続する。		1	1	2		低
信用	9	信用窓口端末	-	推進	信用窓口端末機	統合ネット ワーク	各JA本店・支店	-	-	月～金8:30～18:30 土 8:30～17:00	●	●				2	2	4	・信用窓口で入出金、残高照会、振込、振替ができなくなる。 ・全国システムへの印鑑照会、登録が店舗でできない。	★窓口で手動対応する。 ★近隣の俵店、提携の金融機関を利用する。 ・ベンダー出動による現地対応 ・大規模災害時は障害対応マニュアルに従い対応する。 ・平時から定期的に「当座性取引顧客一覧表」「定期貯金顧客一覧表」等を出力し保存する。 (JAからの問合せがあった場合、県域で残高照会等の対応をする) →「災害時貯金残高照会システム(H25.10.1開始)」によりJAからの依頼時にデータ出力し、USBにて信連経由でJAへ送付する。 ★各店舗で保管の印鑑票で対応可能な範囲は照会対応する。 ★NET取引の印鑑照会や登録は不可のため、窓口対応は手動対応する。 ★近隣の俵店、提携の金融機関を利用する。 ・ベンダー出動による現地対応 ・大規模災害時は障害対応マニュアルに従い対応する。 ・平時から定期的に「当座性取引顧客一覧表」「定期貯金顧客一覧表」等を出力し保存する。 (JAからの問合せがあった場合、県域で残高照会等の対応をする) →「災害時貯金残高照会システム(H25.10.1開始)」によりJAからの依頼時にデータ出力し、USBにて信連経由でJAへ送付する。	2	2	4	・災害時は通行規制や輸送手段の確保の難しさから、代替機の運搬は困難と考えられる。 ・一度に大量の機器調達は困難と考えられる。 ・店舗の分布に応じて店舗の復旧優先順位を検討する必要があると思われる。(一地区に偏った復旧にならないように考慮が必要)	中	
信用	10	自動化機器(ATM)	-	推進	自動化機器(ATM)	統合ネット ワーク	各JA本店・支店・商業 施設	-	-	(JA) 月～日8時～21時	●	●	●	●		2	2	4	・自動化機器で入出金、残高照会、振込、振替ができなくなる。	★窓口で手動対応する。 ★近隣の俵店、提携の金融機関を利用する。 ・ベンダー出動による現地対応 ・大規模災害時は障害対応マニュアルに従い対応する。 ・平時から定期的に「当座性取引顧客一覧表」「定期貯金顧客一覧表」等を出力し保存する。 (JAからの問合せがあった場合、県域で残高照会等の対応をする) →「災害時貯金残高照会システム(H25.10.1開始)」によりJAからの依頼時にデータ出力し、USBにて信連経由でJAへ送付する。	1	2	3	・災害時は通行規制や輸送手段の確保の難しさから、代替機の運搬は困難と考えられる。 ・一度に大量の機器調達は困難と考えられる。 ・本来ATMで対応できる範囲も信用窓口で対応するため、業務負荷は増大する。 ・店舗の分布に応じて店舗の復旧優先順位を検討する必要があると思われる。(一地区に偏った復旧にならないように考慮が必要)	中	
信用	11	印鑑照会(全国印鑑照会)(中 継サーバ)	運用	運用	全国印鑑中継サーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	-	-	HW: 平日9:00-17:30 SW: 24時間・365日	●					2	2	4	・口座振替依頼書管理システム、手形小切手集中決済システムでの印影確認ができない。	・手形集中決済は紙ベースの印影を保管しているため紙ベースで照会する。	1	1	2	・印鑑登録データは全国側にあるため、損失の危険はない。	低	
経済・利用	12	管理・経済(経済系)	開発	運用	管理・経済サーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/OPC/1世代/マシン室 ②日次/バックアップサーバ/1世代/マシン室 ③日次/LTO/24か月/マシン室 ④日次/LTO/1世代/滋賀(ワンビシ)	●	24時間・365日	●	●	●	●	●	2	2	4	・購買供給、未収管理が出来なくなる。 ・販売精算、支払処理が出来なくなる。 ・利用未収、実績管理が出来なくなる。 ・直近のデータが失われる恐れがある。	★手書き伝票等で対応し、復旧後システムに事後入力する。 ★事前にデータを紙出力し保管する。 ★顧客への支払いは、暫定の支払対応を検討する。 データのバックアップを外部保管する。	2	1	3	・総合ポイント(全国接続側)が同居	中	
経済	13	ファーマーズマーケット	開発	運用	ファーマーズマーケット システムサーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/NAS/15日/マシン室 ②日次/遠隔地/1世代/NECデータセンター	●	HW:24時間・365日 SW: 平日・9:00～17:00	●	●	●	●	●	2	2	4	・在庫管理、販売管理でが出来なくなる。 ・販売精算処理が出来なくなる。 ・直近のデータが失われる恐れがある。	・流通の停止により、業務は在庫分販売のみに限定されるため、早々に商品が枯渇と思われる(販売業務自体が早期に停止する)。 ★精算は暫定の支払対応を検討する。 データのバックアップを外部保管する。	2	1	3	農地管理支援システムが同居	中	
管理	14	管理・経済(管理系)	開発	運用	管理・経済サーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/OPC/1世代/マシン室 ②日次/バックアップサーバ/1世代/マシン室 ③日次/LTO/24か月/マシン室 ④日次/LTO/1世代/滋賀(ワンビシ)	●	24時間・365日	●	●	●	●	●	2	1	3	・会計管理が出来なくなる。 ・固定資産管理が出来なくなる。 ・給与支払が出来なくなる。 ・直近のデータが失われる恐れがある。	★給与は、暫定の支払対応を検討する。 データのバックアップを外部保管する。	2	1	3		中	
信用	15	ネットワーク監視カメラ	推進	運用	ネットワーク監視カメラ システムサーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	-	-	24時間・365日	●	●	●	●	●	1	1	2		・復旧まで待つ(ベンダー依存)		1	1	2		低
信用	16	OTM	-	推進	OTM	統合ネット ワーク	各JA本店・支店	-	-	※信用窓口端末に 準じる	●					1	1	2				1	1	2		低
信用	17	信用業務共通 ・睡眠雑益編入口座管理 ・文書データベース ・振替決済処理 ・県内信用事業イントラ ・人材育成データベース管理 ・三重県版電子帳表	総務	運用	信用業務共通サーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/LTO/35日/マシン室 ②月次/LTO/永久/マシン室 (最新1世代は、滋賀(ワンビシ)) ③日次/遠隔地/1日/NECデータセンター	●	24時間・365日	●	●	●	●	●	1	1	2		・振替決済は、信用窓口端末機から取引する。 ・その他は、復旧まで待つ(ベンダー依存)		1	1	2	・睡眠雑益編入口座管理は、利息計算書を顧客に発行するケースがある。	低
信用・その他	18	情報表示システム	推進	推進	情報表示サーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/遠隔地/1世代/NECデータセンター	●	24時間・365日	●	●	●	●	●	1	1	2		・復旧まで待つ(ベンダー依存) ・店舗機器はセンター代替機器を搬送		1	1	2	・センター保管の代替機器は1台分しかない。 ・一度に大量の機器調達は困難と考えられる。	低
経済	19	管理・経済(情報系)	開発	運用	管理・経済サーバ	統合ネット ワーク	センタービル2Fマシン 室	①日次/OPC/1世代/マシン室 ②日次/バックアップサーバ/1世代/マシン室 ③日次/LTO/24か月/マシン室 ④日次/LTO/1世代/滋賀(ワンビシ)	●	24時間・365日	●	●	●	●	●	1	1	2	・直近のデータが失われる恐れがある。	データのバックアップを外部保管する。		1	1	2		低

別表4 業務別復旧判断基準

[illegible]